

「粉体および粉末冶金」2026年5・6号

「粉体プロセス特集」

「粉体および粉末冶金」では、2026年5・6号に「粉体プロセス特集」を予定しています。研究論文をはじめ、研究速報、研究ノート、テクニカルレポート、技術速報、受賞記念講演、総説、解説、新技術・新製品紹介などの募集を行いますので、奮って投稿をお願い致します。

【趣旨】

粉体プロセスは、材料設計・製造技術の根幹を支える分野として、近年ますます重要性を増しています。特に、微粒子の配向制御、高密度成形、ナノ粒子の精密操作など、粉体プロセスの革新は、セラミックスをはじめとする高機能材料の性能向上と多様な応用展開に直結しています。

微粒子合成やその粒子表面の改質・複合化、さらにコロイド化学や界面科学の知見を取り入れた粉砕・分散制御や成形プロセスの最適化も進展しており、粉体技術は学際的な融合の中で進化を続けています。また、強磁場を利用した粒子配向技術、放電プラズマ焼結（SPS）やフラッシュ焼結による短時間焼結、電気泳動堆積法による成形技術など、物理場を活用したプロセスは、構造材料・電子材料・光学材料などの分野において新たな可能性を切り拓いています。

本特集では、粉体プロセスに関する最新の研究成果、技術開発、応用事例を広く募集し、今後の材料科学の発展に資する知見の共有を目指します。基礎から応用まで、幅広い視点からの総説および解説、テクニカルレポート、技術速報、新技術・新製品紹介などの募集を行いますので、奮って投稿をお願い致します。

【企画立案者】

藤 正督（名古屋工業大学）、鈴木 達（物質・材料研究機構）、打越 哲郎（物質・材料研究機構）

【募集要領】

募集原稿：研究速報、研究ノート、テクニカルレポート、技術速報、受賞記念講演、
総説、解説、新技術・新製品

区 分：5月号（オンラインで公開）

粉体プロセス特集Ⅰ：粒子合成法、成形法を工夫した創製技術と機能発現
6月号（オンラインで公開した5月号と合わせて、冊子で公開）

粉体プロセス特集Ⅱ：外場利用した創製技術と機能発現

原稿締め切り：2026年1月末日

* 原稿は、本誌投稿規定ならびに執筆要領に従って、**電子投稿審査システム**
<https://www.editorialmanager.com/jjspm/> を通じて投稿してください。

また、原稿は特集号への投稿であることがわかるように備考欄に「2026年5・6号
粉体プロセスⅠ又はⅡ」とご記入ください。

【問い合わせ先】

一般社団法人粉体粉末冶金協会 事務局

e-mail: yoshiday@jspm.or.jp

Tel. 075-721-3650